

ジャガイモシロシストセンチュウの発生の確認について

(平成27年8月20日)

農林水産省は、平成27年8月19日に北海道網走市内の一部のほ場において、ジャガイモシロシストセンチュウ (*Globodera pallida*)の発生を確認したと発表しました。

本線虫は、ジャガイモやナス等のナス科植物に寄生し、根の生育阻害等を起こし、やがて枯死させるなど、甚大な被害をもたらす害虫で、植物防疫法では当該線虫の発生国（アメリカやヨーロッパなど）からのナス科植物の生塊茎等地下部を輸入禁止措置としています。

農林水産省によると、本線虫のまん延防止を図るとしており、今後、発生範囲の特定調査、発生ほ場の土壌消毒の実施など対策を講じるとのことです。

詳しくは、次のアドレスからご確認ください。

<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/150819.html>